



# 桃五だより



No.611

(5月号)

2022.5.2

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

## 保護者・地域との連携を大切に

副校長 橋本 潮

この4月から赴任しました新任副校長の橋本です。これまで、東京都教育庁で教育行政に携わっていました。久しぶりの学校現場への復帰になります。

学校の良さは、何といても子供たちの活気のある声が常に響いているところだと思います。こちらも自然とエネルギーが沸いてきて、学校に戻ってきたことを実感します。もう一つの良さは、学校の仕事には、季節感があるということです。赴任早々、きれいに桜が咲く中で入学式がありました。季節感のある仕事ができるということは、とても幸せなことだと思います。今後も、朝顔を育てたり、水泳指導が始まったりします。季節の移り変わりを感じながら、子供たちの成長する姿を見守っていききたいと思います。

さて、先日、今年度最初の学校運営協議会がありました。学校運営協議会とは、地域を代表する方々を委員として定期的開催し、学校運営に関する助言をいただいたり、学校の様子について情報提供をしたりして、連携を強化していくことを目的にしています。本校では、管理職のほかに、各学年から1名ずつ教員が出席しています。各学年からは、次のような報告がありました。

(1年生)

上級生の助けを借りながらの学校生活がスタートした。概ね落ち着いて過ごしている。まずは、基本的な力として「話の聞き方」をしっかりと身に付けていくことを指導の重点としていく。

(2年生)

4クラス体制になり、4人の担任が放課後に情報共有をし合って学年経営をしている。子供たちは、しっかりしていて、進級した自覚が態度に出ている。学習の状況に応じて、個別に支援していく。

(3年生)

ギャングエイジであり、子供たちからはエネルギーを感じる。新しいクラスの中で、早く自分の居場所を作れるように、子供たち同士の横のつながりを大事にしていきたい。

(4年生)

中学年特有のエネルギーがある。様々な機会を与えて、学校は自分たちの力でいくらかでも楽しい場所にできることを伝えていきたい。

(5年生)

様々な実行委員をつくり、先頭になって活動する機会を意図的に作っていく。移動教室に向けて、自分で自分を管理できるようにしていきたい。

(6年生)

最上級生として、学校全体の仕事については積極的に参加している。ボランティア意識が育ちつつあるので、教員がサポートして、子供たちそれぞれの良さを引き出していきたい。

また、協議の中では、「コロナ禍で保護者会や学校公開が十分にできず、学校の様子を保護者や地域に知っていただく機会が減ってしまい、コミュニケーションがとりづらくなった。やはり、顔の見える関係を大切にしていきたい。」という意見も出されました。学校の教育活動が、改めて保護者や地域の方々に支えられて成り立っていることを、強く感じる一面でした。

副校長は、学校と保護者や地域との窓口になることが多くあります。地域に開かれた学校として、保護者・地域との連携を大切にしていきたいと思います。新任副校長で至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 5月の生活指導目標 友達となかよくなろう

新年度が始まり1か月が経ちました。クラス替えもあり、新しい友達がたくさんできたことでしょう。桃五小では、基本的に天気の良い日は外遊びをすることとなっています。ぜひ、体を思い切り動かし、たくさんの友達とふれあいながら、遊びを通して様々なことを学んでほしいです。